公　表

令和５年度第１回清川村行政改革推進委員会会議録

１．日　時　令和５年 11 月 13 日（月）午後２時から午後４時まで

２．場　所　役場庁舎３階　２・３会議室

３．出席者　【委　員】

笹原和織、小林大介、伊藤攻、細野百合子、小島髙徳、守屋力、
山戸正志、藤谷健一、橋本直人、山口志ず子、藤田真義
（欠席）　山口昌興、松本将彦

【事務局】

岩澤政策推進課長、岩本主査、黄金井主事

４．内　容

１　開　　会
２　あいさつ
３　議　　題
(1) 第６次清川村行政改革実施計画の進行管理について
(2) 第６次清川村行政改革実施計画について
(3) その他
４　閉　　会

１　開　　会

政策推進課長　本委員会の開会を司会進行の政策推進課長が宣言した。

２　あいさつ

笹原委員長　笹原委員長あいさつ

村　　長　岩澤村長あいさつ

３　議　　題

(1) 第６次清川村行政改革実施計画の進行管理について

事務局から、資料１「第６次清川村行政改革実施計画進行管理表【令和４年度～６年度】」を基に、令和４年度の取組について説明。

【質疑応答】

委　　員　指定管理者制度以外の手法による民間委託を検討したことはあるか。

事 務 局　いわゆる業務委託契約による民間委託については、近年の役場業務は、業務量が増大していることからも、積極的に導入を進めているところです。近年は、PPP/PFI といった手法も浸透し始めていることから、事業実施にあたっては、指定管理者制度や業務委託といった従来の手法にとらわれず、あらゆる観点から検討を進めていく必要があると考えています。

委　　員　職員がコアな業務に専念できるような方法の検討を進めていただきたい。

委　　員　生きがい事業団の広域化についての研究とは具体的にどのようなものか。

事 務 局　生きがい事業団は、国庫補助の対象となるシルバー人材センターと異なり、あくまで任意の団体という扱いとなっていることから、神奈川県が単独で補助事業を実施しています。
しかしながら、この補助事業が時限的なものであることから、近隣である厚木市や愛川町との連携による財政的な課題解決ができないかと検討しているところです。

委　　員　生きがい事業団のインボイスへの対応はどうか。

事 務 局　清川村生きがい事業団は、早々に対応いただき、対応が完了していると伺っています。

委　　員　実際のところ、制度の開始についての周知はあっても、具体的な手法は示されないので対応に苦慮している。

委　　員　時間外の項目は、職員数により単純比較が難しいことから、一人当たりとしていただきたい。

事 務 局　ご意見として承ります。

委　　員　意見提案について、ゼロが続いていることから、運用方法の検討をされた方が良いのではないか。

事 務 局　所管課へ共有いたします。

委　　員　村の決算上、執行残が多く残っているのはどのような理由なのか。

事 務 局　ご認識のとおり、事業によって執行率にはばらつきがあり、工事などの投資的経費については、見通しが立てられることから、執行残が発生した段階で補正予算での対応が可能なものもありますが、福祉などの分野では、今後の執行を見込んで待ち受けているような事

業もございますので、どうしても決算時に執行残が出てしまう場合があります。また、広報紙等でお示ししている執行率については、繰越明許費が執行残に含まれていることもあり、近年の新型コロナウイルス感染症対策等で国から交付される分の予算で、前年度から繰り越した分が含まれているケースもあります。

委　　員　ふれあいセンターは経営状況が良くなく、料金をどうにかして片が付く問題でもないと思われる。

事 務 局　ご認識のとおりであり、過去には特別会計により収益事業として実施していたことはありますが、現在は福祉事業も兼ね、一般会計により住民サービスの側面を強くした形で運用しています。

委　　員　ふれあいセンターの送迎車はコミュニティ交通のような扱いはできないのか。

事 務 局　ふれあいセンターの送迎車は、従前からダイヤを改正し、各地区２回送迎ができるよう変更したところなので、利用状況を踏まえて検討していきます。また、実態として村の公共交通は神奈川値中央交通による路線バスのみであることから、この路線バスの利用を促進し、維持する施策を進めているところです。

委　　員　ふれあいセンターは、歳入を増やすのもそうだが、施設の修繕に係る経費が主な支出だと思うので、どこかのタイミングでまとめて修繕するなどの検討も必要なのではないか。

事 務 局　ご意見のとおりであり、計画的な修繕は必要であると考えますので、今後の運用方針等も含めて検討してまいります。

委　　員　育児休暇取得３名のうち男性職員が１名とのことであるが、対象者が１名だったのか。

事 務 局　そのように伺っています。

委　　員　職員提案が３年間ゼロなのは、提案しにくい状況なのか。運用方法を変えた方が良いのではないか。

事 務 局　提案箱を経由して提案されているのはゼロですが、予算査定やヒアリングなどの場における事業提案等はありますので、職員提案制度に対する認識の問題と思われます。

委　　員　提案を採用するのは誰なのかが問題なのではないか。他の部署に対しての意見を言うことも提案である。

委　　員　提案しにくい環境なのであれば、無理に制度を残しておく必要もないのでは。

委　　員　４か所に増やしたことで、かえって特定されやすくなっているとも

考えられる。

委　　員　本来「提案」というのは、良くしようと思って行うものであるので、匿名性を担保する必要はない。民間企業などは、提案を上の人間が買うといった仕組みで実施しているところもある。賞などを与えても良いのではないか。

委　　員　本来の「提案」の趣旨からすれば、そのような取組は必要である。もう少し前向きでなければ提案制度の意味がない。

事 務 局　実態として、本来の制度趣旨と異なる認識が職員間で浸透している可能性は考えられます。また、４か所に増やしたのも匿名性を増すためのものであり、ご指摘のとおり、そもそもの「提案」の趣旨に鑑みれば、適切な手法とは言えないかもしれません。ご意見につきましては担当課に共有し、有意義な制度となるよう改善を図ってまいりたいと考えております。

(2) 第６次清川村行政改革令和５年度実施計画について

事務局から、資料２「第６次清川村行政改革実施計画【令和５年度～７年度】」を基に、令和５年度の実施計画について説明。

委　　員　青龍祭に関してだが、運営側の人員が減っている。もう少し観光の側面から担い手を確保する手法も検討していかなければならないと考える。

事 務 局　ご意見として承ります。

委　　員　やまびこマラソンについて、今年度はランナーが少なく、運営に支障があるからといって補助金で賄うのはおかしい。中止を含めた規模の縮小を検討すべき。

事 務 局　現在のマラソン大会では、一般ランナーからは料金を徴収しているものの、小・中学生は無料で実施をしている関係もあることから、その部分に係る補助を行っているところです。また、今大会は、３年振りの開催であるとともに、他の地域でもマラソン大会が盛んな時期でもあり、例年参加いただいていたランナーの皆さんのルーティンから外れてしまうと、戻ってきていただくのが大変難しいという状況も聞いているところです。今後につきましては、今大会の開催状況を踏まえ、検討してまいります。

委　　員　せめて村民が参加しやすいような取組みの検討が必要ではないか。

事 務 局　ご意見として承ります。

委　　員　女性委員の参加拡大が柱としてあるが、現代において馴染まないの

ではないか。

事　務　局　ご指摘のとおり、ジェンダーレスの時代であるので、女性委員という項目出しについては議論の必要性があると感じていますが、一方で男女共同参画の考え方として、実際にこうした参画の場においては女性よりも男性の方が多くなりがちな状況がありますので、項目として残しているものです。各委員の募集の際には、比率に大きな差が出ないよう配慮しながら選定をしております。

委　　員　タブレット端末は職員全員が持っているのか。

事　務　局　課長職以上のみに配布しています。スケジュール管理や緊急時に活用しています。

委　　員　小・中学生が持っているのだから、職員も全員持つべきで、こうした会議の場でも活用できるのではないか。村が変わるにはそれくらいやった方がちょうど良い。若い職員に持たせた方が、役職者が助かると思う。

委　　員　電子的な情報は記憶に残りにくいという研究もあることから、用途を分けて活用を進めていく必要はあると思うが、自治体事務などは電子化してしまって構わない分野であると考える。

(3) その他

笹原委員長　その他、事務局からなにかありますか。

事　務　局　ありません。

笹原委員長　全体を通して、委員の皆さんからご意見やご質問がありましたらお願いします。

委　　員　次回の会議日程などはあるのか。

事　務　局　今年度の開催予定はありません。

委　　員　実施計画の評価はどのように行うのか。

事　務　局　来年度の会議で、令和５年度の実績についてご報告いたします。

笹原委員長　他にないようでしたら、本日予定していた議題は全て終了いたしましたので、議長の任を解かせていただきます。ご協力、ありがとうございました。事務局に進行をお返しします。

４　閉　　会

政策推進課長　本委員会の閉会を司会進行の政策推進課長が宣言した。